

たかつき 市議 だより 会

No. 294

3月定例会

Contents

3月定例会の概要	2
代表質問	3
代表質問、議案質疑	10
議案質疑、議決結果	12
表決結果	13
一般質問	14
議会の日程等	16

春風にたなびき、空を彩るこいのぼりたち



こいのぼりフェスタ1000(昨年撮影)

定例会の概要

令和8年3月定例会を、2月25日から3月25日までの29日間の会期で開きました。

今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派の発言者が代表質問を行いました。（代表質問の要旨は3面から10面に掲載）

また、約1511億8996万円となる一般会計当初予算をはじめ、各特別・企業会計の当初予算のほか、高槻市事務分掌条例の一部改正などの条例案件などを審議し、議決しました。

このほか、議員提出議案として、高槻市議会委員会条例の一部改正や、市長の専決処分事項の指定に関する

条例の制定、及び中東地域の早期事態収拾を求める決議を審議し、議決しました。

主な議案のあらまし

**機構改革
多様化・高度化する
行政課題への確に対応**

部局横断的な重要施策の迅速な推進など多様化・高度化する行政課題への確に対応するため、市長の直近下位の内部組織として、市長が指定する政策案件に関する事務を分掌する成長戦略本部を設置するとともに、危機管理室を危機管理本部に、総合戦略部を総合政策部に、市民生活環境部を市民共創部に、街にぎわい部を歴史にぎわい部に改める、高槻市事務分掌条例中一部改正についてを可決しました。

**特定教育・保育施設等の
2歳児クラスにおける
保育料を無償化へ**

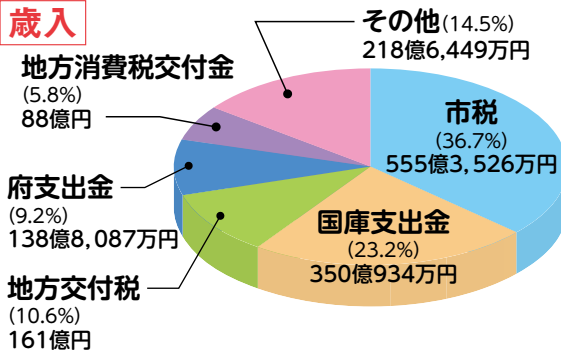
子育て世帯の負担軽減を図るため、特定教育・保育施設等の2歳児クラスの保育料無償化を実施する予算などを含む、令和8年度高槻市一般会計予算についてを可決しました。

人事案件

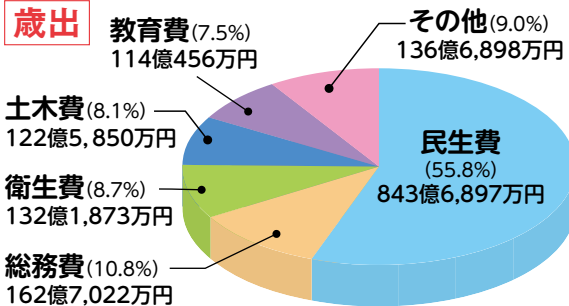
- ◎教育委員会委員に松村洋子さんを任命することに同意しました。
- ◎公平委員会委員に土屋隆一郎さんを選任することに同意しました。
- ◎固定資産評価審査委員会委員に畑山和幸さんを選任することに同意しました。

令和8年度 一般会計予算1,511億8,996万円の構成

歳入



歳出



※端数処理のため合計と合わない場合があります

一般会計 予算の 主な内容

- 2歳児クラスの保育料無償化 (5億9,616万円)
- 富田地区まちづくり事業 (1億3,800万円)
- たかつき未来パーク整備事業 (8億9,064万円)
- 摂津峡全体のリニューアル (8億1,432万円)
- 窓口DXの推進（書かない窓口システムの導入など） (1億1,958万円)



代表質問

3月3日の本会議において、所属議員が多い会派から順番に、各会派の発言者が市長の施政方針に対する代表質問を行いました。

ここでは、主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

なお、令和8年度の施政方針の内容と、施政方針に対する代表質問項目は、市ホームページ「施政方針大綱」(ページID:169872)及び「代表質問項目」(ページID:001085)をご覧ください。



▲施政方針大綱



▲代表質問項目

公明党議員団

市民と未来をつなぎ 次世代へ心を届ける 高槻のまちづくりを力強く推進！

五十嵐秀城 笹内 和志 ※高島佐浪枝 三井 泰之
宮田 俊治 湯峯佳代子 吉田 章浩

※は発言者

本市の将来構想と 組織新設の意義は

議員 令和8年度においては、一層のスピード感を持ったまちづくりの推進、将来を見据えた市政運営の変革を図る観点から必要な組織の見直しが行われると示されました。本市の将来構想と組織新設の意義について伺います。

市長 将来を見据え、次

世代に明るい未来を引き継いでいくためには、歴史の継承や、市政のさらなる発展を目指すことが不可欠であるため、新たに成長戦略本部を設置し、本市の成長に欠かせない富田地区のまちづくり等を部局横断的に推進していきます。また、近年のデジタル化の急速な進展を市民サービスの向上や業務効率化を図る絶好の機会と捉え、デジタルを活用した窓口や業務の抜本的な改革を進めます。今回の機構改革により施策の推進力を高め、全庁一丸となって、日本の高槻として全国に存在感を示す、さらなる飛躍を実現していきます。

危機管理センター 行動マニュアル見直しと 防災啓発への取組は

議員 危機管理センターは災害発生時が本来の役割を実行するタイミングとなるため、適切な情報の一元的な確かな指揮命令体制が重要です。新たな拠点にふさわしい行動マニュアルの

見直しと防災啓発の取組に関する市の見解について伺います。

市長 危機管理センターの機能を最大限発揮するためには、職員の災害対応力の向上や防災関係機関との連携が重要であると認識しており、今後、様々な災害を想定した訓練の実施や被災自治体の対応等を参考に、マニュアルの継続的な改善などに取り組みます。

また、大型映像表示音響システムを活用した映像コンテンツ等により、若年層を含め、多くの市民に防災に関心を持っていただけるよう努めていきます。



▲4月に供用開始した危機管理センター

**高齢者等ごみ出し支援
見守り機能に対する
見解は**

議員 本事業を実施するに至った経緯や、導入に向けたスケジュール、制度の対象者について伺います。

また、孤立・孤独死防止の観点から見守りの役割も期待されますが、市の見解について伺います。

市長 高齢化の進展に伴い、高齢者のみの世帯が増加するなど、家庭のごみを集積場所まで持ち出すことが困難な世帯が増えており、戸別収集への市民ニーズが高まっていることから本事業を実施するものです。支援対象は、ごみ出しが困難な要介護2以上の方や重度の障がいがある方等の世帯で、令和8年4月中旬から受付を開始し、対象要件の確認と現地訪問を行った上で、6月頃から戸別収集を実施する予定です。

ごみの収集時に連絡の取れない世帯などについて、状況の確認が必要な場合は、関係部局と速やかに情報共有を図り対応していきます。

**書かない窓口システム
改善の経緯や導入の効果は**

議員 人口減少と高齢化が進む中、行政サービスの利便性向上と業務効率化の両立は本市にとって重要な取組であり評価します。

そこで、窓口の改善に至った経緯と対象の手続、どのような効果を見込んでいるのか伺います。

市長 令和6年度に、窓口関連所属で構成する窓口業務改善分科会を設置し、窓口業務の改善について検討してきました。システム導入後は、住民異動と、証明書発行に関する手続において、窓口職員が聞き取りにより申請書の作成を行います。また、他部署の関連する手続についても、住所等があらかじめ記載された申請書類等を発行することで、書かないことに加え、迷わない窓口の実現を図っていきます。

**富田地区のまちづくり
基本方針と取組体制は**

議員 令和8年度は富田

支所・富田公民館の建て替え設計等に取り組まれるとのことですが、富田地区全体を見据えたまちづくりの基本的な方針と、多岐にわたるプロジェクトへの取組体制について伺います。

市長 富田地区は都市計画マスタープランで西部の都市拠点として位置づけられており、地域のさらなる活性化に向け、豊富な歴史文化遺産を活用した、にぎわいあふれるまちづくりに取り組むことを基本的な方針としています。プロジェクトの推進体制については、関係部署が多岐にわたるため、庁内検討会を設置し、相互に連携・調整しながら検討してきましたが、今後はより迅速かつ着実に推進するため、成長戦略本部を新たに設置し、一層のスピード感を持ってプロジェクトを推進していきます。

**質の高い保育を受けられる
体制整備に向けた
取組は**

議員 北摂初の特定教育
・保育施設等に係る2歳児

クラスの保育料無償化は保育施策の大きな前進であり、大いに評価しますが、保育需要を適切に見込んだ保育の質の確保が重要となります。全ての子どもが、いつでも安心して質の高い保育を受けられる体制整備に向けた取組について伺います。

市長 保育の担い手の確保・定着のため、令和8年度から、保育士等への奨学金返済支援事業の補助期間を3年から10年に拡充することで、働き始めから中堅層へ至るまでの時期を厚く支援し、経験を積んだ保育士確保に取り組めます。また、経験豊富な保育教諭等が保育現場を巡回し、助言等を行うとともに、実地指導監査等を実施することで、保育現場の適正な運営の確保に努めています。

**すい臓がん対策
事業の経過と
本市の強みは**

議員 すい臓がんの早期
診断体制の構築に向け病診
連携を開始されることは、
市民の命に直結する健康医

療先進都市推進事業にふさわしい先進的な取組と受け止めています。事業開始に至った経過と本市の強みについて伺います。

市長 健康医療先進都市たかつきの取組において、医療関係者で構成する連携会議等で、病診連携によるすい臓がん対策についての提案があり、事業化に至ったものです。また、「健康医療先進都市」推進のための連携に関する協定の締結により、一層強固なものとなった医療関係者との連携や全国に誇る医療体制など、本市の強みを十分に生かし、市民の命を守るため、すい臓がん対策の取組を積極的に推進していきます。



▲健康医療先進都市たかつき啓発用看板

日本の高槻へ 未来を見据えた改革で 持続可能なまちづくり

鈴木りゅういち

木山ユウ子
山崎麻里子

きもとゆう
※田村のり子

よし
竹中 健

※は発言者

富田地区のまちづくり 課題についての認識と 取組の方向性は

議員 富田地区のまちづくりについて、課題である鉄道の高架化事業を含めた長期的な都市基盤整備における認識と取組の方向性に関する市の見解を伺います。
市長 富田地区の長年の課題は、鉄道踏切等による交通問題であり、抜本的な

課題解決には鉄道の立体交差化が必要であると認識しています。そのため、JR京都線について、事業の実現が図られるよう、引き続き、事業主体となる大阪府に要望するとともに、阪急京都線についても、踏切除却に向けて鉄道事業者等の関係者と検討していきます。

青少年運動広場 人工芝全面張り替えに 関する利用者への対応は

議員 青少年運動広場における人工芝全面張り替えの工期について伺います。また、同広場の利用者の混乱を招かないよう、人工芝の張り替えについての丁寧な周知等が必要と考えますが、市の対応について伺います。

市長 工期は冬季期間の本年11月から翌年3月までを予定しており、年間を通じた利用への影響を最小限に抑える計画としています。同広場は、毎年7万人をこえる方が利用する市民ニーズの高い施設であるため、張り替えに係る周知は重要

であり、特に工事期間中は、各スポーツ団体による大会の開催や定期利用の団体への影響が大きいため、関係団体への案内を行うほか、広報誌やスポーツ施設情報システム等で周知します。



▲人工芝全面張り替え工事を実施する青少年運動広場

危機管理センター 平常時の取組は

議員 危機管理センターの運用については、常設の場所だからこそ、平常時の取組が重要ですが、過去の災害対応の徹底した検証や教訓を確実に反映させるな

ど、研究的な仕組みはあるのか、市の見解について伺います。

市長 災害時に、被害状況などの各種情報を一元的に把握し、迅速かつ的確に災害対応を実施するため、大阪府北部地震の課題等を踏まえ、必要な機能やスペースの常設化・ワンフロア化を実現しました。同センターの整備効果をさらに高めるには、防災関係機関との連携強化が重要であることから、平常時には、実災害を想定した訓練や研修などを積極的に実施するほか、災害対応マニュアルの改善に取り組んでいきます。

ICTを活用した 災害時要援護者支援の 取組は

議員 ICTを活用した災害時要援護者の安否確認システムの活用には、安否確認をする可能性のある方々との平時からの連携が肝要ですが、関係者間の連携強化等をどのように進め、災害時に真に機能する体制としていくのか、市の見解

について伺います。

市長 災害ボランティアセンターについては、令和8年度からスマートフォンアプリを使用したボランティアの登録や、被災状況の集計等を行える運営支援システムを導入します。また、令和7年度に新たに構築する安否確認システムについては、スマートフォン等を活用して民生委員児童委員から報告された安否状況等を関係者間で共有することで、その後の円滑な支援につなげていきます。

保育需要増加への対応策は

議員 2歳児までの保育料無償化により保育ニーズが一層高まることも想定されますが、利用保留児童が依然として生じている現状を踏まえ、需要増への対応策をどのように講じていくのか、市の見解について伺います。
市長 保育需要への対応については、0歳児から2歳児のさらなる受入確保に向け、小規模保育事業所を

引き続き整備するとともに、当該事業所の卒園児を含む3歳児以上の受入れについては、入園児数の減少により、恒常的な定員割れが生じ、幼児教育における適正な集団規模の確保が課題となつている公立幼稚園の認定こども園化を推進します。

今後の健康被害防止対策に対する市の見解は

議員 JR摂津富田駅北側に密閉型公共喫煙所を設置し、併せて駅北側周辺を路上喫煙禁止区域に指定することですが、市全体での受動喫煙対策の強化が求められている中で、受動喫煙防止条例の制定を含め、今後、どのように健康被害防止対策を推進していくのか、市の見解について伺います。

市長 現在、国においてさらなる受動喫煙対策を推進することを目的として、改正健康増進法施行後の実態を把握するとともに、制度の運用改善等について議論が進められています。

本市においても、国の動

向を注視するとともに、引き続き、市民の健康増進を図られるよう受動喫煙防止対策に取り組んでいきます。

島本町との観光振興さらなる展望は

議員 島本町とは既に観光振興に関する様々な取組が進んでいます。単発の事業にとどまらず、持続的な連携へと発展させるべきと考えます。その展望に関する市の見解について伺います。

市長 高槻市観光協会が令和8年度に事業区域を拡大し、島本町を対象エリアとする予定であること等と踏まえ、両市町の地域資源を生かした、新たな観光プログラムを開発するなど、効果的な広域観光に取り組むことで、交流人口や関係人口のさらなる増加を図っていきます。

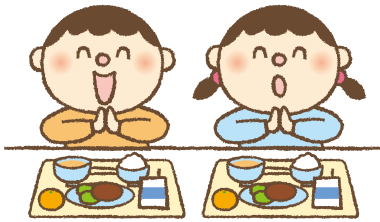
引き続き、島本町をはじめ高槻市観光協会等と連携しながら、さらなる観光振興に取り組んでいきます。

国の小学校給食費無償化市の財政上のメリットは

議員 今般の国による小学校給食費無償化によって、本市の財政上、大きなメリットが生じますが、国から充当される額について伺います。

市長 令和8年度からの国の小学校給食費無償化に伴い、本市に新たに交付される財源として、就学援助による無償化分も含め、給食費負担軽減交付金9億2658万2000円を予算計上しています。

この新たな財源措置により、給食費無償化に要していた一般財源は減少するため、これらについては、市の事業全般の財源として活用します。



自民・無所属議員団

市民・地域コミュニティとともに歩み、持続的に発展する魅力あるまちづくりの推進

岩 為 ※金 雅 こう
中村 俊 森 樹 のきよ
明子 平田 裕也 真鍋宗一郎

※は発言者

地域コミュニティと行政の連携は

議員 市民参加・市民協働のまちづくりについて、地域コミュニティと行政がどのように連携し、まちづくりを推進していくのか伺います。

市長 芥川地区・北清水地区では、活気のある元氣な地区コミュニティの維持と住民主体のまちづくりを目指し、公民館をコミュニティセンターとして自主管

理・自主運営していくことに取り組み、本市もその活動を全面的に支援し、4月1日に開設される運びとなりました。

本市としては、一層活発なコミュニティ活動の推進を目指し、高槻市コミュニティ市民会議や地区コミュニティ市民会議や地区コミュニティが取り組む、地域に根差したまちづくり活動や防災活動を支援し、市民との協働による住みよいまちづくりを進めていきます。

稲作・水田農業の維持と発展は

議員 本市の農業を支える基盤は稲作・水田の力強い継続にあると考えますが、米づくりは担い手不足や資材高騰などの課題に直面しています。稲作・水田農業の維持と発展に関する市の考えについて伺います。

市長 水田を将来にわたって守り続けていくため、これまでも農道や水路などの基盤整備への支援等に取り組んできました。

今後、農業者の高齢化による後継者不足や深刻化す

有害鳥獣被害など、本市の農業を取り巻く環境が年々厳しくなることから、JAたかつきをはじめ、地元実行組合等と緊密に連携を図り、関係者が一体となってさらなる農地の利用集積・集約化や、新規就農者の育成・確保を進めるとともに、本市農業の持続的発展に向け、各種農業振興施策に取り組んでいきます。

魅力ある駅前整備で人が集うまちの実現を

議員 市民のみならず、訪れる方々にも魅力を感じてもらえる駅前整備を進め、多くの人が集うまちの実現が重要であると考えますが、魅力ある駅前の在り方に対する市の見解について伺います。

市長 本市では、さらなる都市機能の集積や高度化に向けたJR高槻駅南地区市街地再開発準備組合への支援、関西将棋会館への動線となる道路の美装化等に取り組んでいます。また、快適に公共空間を利用できるように、富田地区も含め公

衆トイレの改修や密閉型公共喫煙所の設置など、駅周辺整備に取り組んでいます。今後も、鉄道駅周辺が、市内外から多くの人々が訪れ、にぎわいと活力があり、魅力あふれる都市拠点となるよう、引き続き取り組んでいきます。



▲美装化等に取り組む駅周辺の道路（イメージ）

子育て世帯の経済的負担軽減に対する市の決意は

議員 多様な子育ての形に寄り添い、より公平性・包摂性の高い支援策を展開することで、子育て支援のトップランナーであり続けてほしいと考えますが、市の決意について伺います。

市長 令和8年度は、新

たに特定教育・保育施設等に係る2歳児クラスの保育料無償化や、私立小中学校等に通学する児童生徒の給食費相当額の支援などに取り組んでいきます。

本来、子育て支援策は、全国一律の基準により実施されるべきですが、本市では、独自の支援策を大胆に拡充してきました。引き続き、子育て支援施策の充実を国に要望していきます。今後とも国の動向を注視しながら、子育て・教育のトップランナー都市としてふさわしい施策を推進していきます。

持続的な発展に向け将来を見据えた人材戦略は

議員 本市の持続的な発展のためには、働きたい・成長できると感じられる組織づくりが必要と考えます。今後の人材戦略に関する市の見解について伺います。

市長 多様化する行政課題に機動的に対応できる体制構築のためにも、人材の確保と育成は大変重要であると認識しています。

少子化の進展等を背景に、自治体間や民間企業との人材獲得競争も年々激化しています。特に技術職の受験者数の減少が顕著なため、技術職に特化した採用PR動画を作成するなど、デジタルツールを活用した情報発信を強化します。また、新たに大学3年生以下を対象とした説明会を開催するなど、志願者との様々な接点づくりに努めていきます。

採用後の人材育成については、セルフマネジメントに関する研修の導入など、次代を担う職員の育成に向け、さらなる研修体制の充実に取り組んでいきます。

歴史資源を生かした取組具体的な戦略は

議員 歴史資源を生かした取組について、新年度からの組織改編の意義と併せ、具体的な戦略について伺います。

市長 本市は、国史跡である安満遺跡、今城塚古墳、芥川城跡をはじめ多彩かつ貴重な歴史の魅力あふれる資源を数多く有しています。

令和8年度からは、「歴史にぎわい部」に、文化財及び歴史資産の保護、活用、整備、管理までを一元的に担う「歴史文化財室」を設置し、高槻城公園と芥川城跡の整備をはじめ、（仮称）日本たかつき歴史大学の開校準備に取り組むなど、歴史を生かしたまちづくりをより一層推進するほか、市の編さんに向けた検討などにも取り組めます。

今後も引き続き、本市独自の歴史と文化を守り、生かし、伝えることで、まちの品格のさらなる向上を図るとともに、シビックプライドの醸成とにぎわいの創出に努めていきます。



▲歴史資源の1つである芥川城跡

市民連合議員団

人づくりを原点に
「日本の高槻」へ
さらなる前進を！

久保 隆 小森 禎之 遠矢家永子
森本 信之 ※吉尾 卓也 吉田 錦司

※は発言者

2歳児の保育料無償化
さらなる拡充は

議員 特定教育・保育施設に係る2歳児クラスの保育料無償化は、すばらしい施策であると評価しますが、この取組を第一歩とした0歳児・1歳児の保育料軽減の方向性と、無償化に伴う入所希望者の増加に対する保育士確保等の体制整備についてお聞きします。

市長 0歳児及び1歳児への保育料軽減等の拡充に

については、2歳児クラスの保育料無償化の影響や、他市の状況等を見極める必要があると考えています。保育士確保に向けては、

令和8年度から、保育士等への奨学金返済支援事業の補助期間の拡充や、保育士を補助する子育て支援員の養成研修を年2回に増やすなど、積極的に取組を進めていきます。また、利用保留児童対策については、公立幼稚園の認定こども園化等を着実に推し進め、適切な保育の受皿を確保することで、安心して子どもを産み、育てられる環境整備に取り組んでいきます。

DV相談
取組のさらなる強化は

議員 DV相談・女性相談に関して、相談員の配置体制や相談時間帯の拡充についての考えを伺います。

また、男性被害者や同性カップル等への支援強化の考えについてお聞きします。

市長 配偶者からの暴力の被害者は、多くの場合女性であり、女性に暴力を加

えることは個人の尊厳を害し、男女平等の実現の妨げとなっております。この状況を改善し、人権の擁護と男女平等の実現を図るためには、配偶者からの暴力を防止し、被害者を保護するための取組が必要です。DVの相談件数が高水準で推移しており、性別に関わらず被害者が安心して相談できる体制の充実に努めるとともに、関係機関との連携を図り、被害者の保護や児童虐待に関連する事案に適切に対応しており、配偶者からの暴力を容認しない社会の実現に向け取り組めます。

J A たかつきとの連携協定
役割分担と今後の取組は

議員 農業者が安心して営農できる環境整備は不可欠であり、加えて、農業政策は販路から人材、災害対応まで一体で進める必要があります。J A たかつきとの連携協定を踏まえた役割分担と、今後の進め方に関する考えについてお聞きします。

市長 今後のさらなる農

業者支援のため、本年1月に包括連携協定を締結し、有害鳥獣対策の強化や、新規就農者へのきめ細かな支援に加え、災害時等における、米の優先供給に関する仕組みづくりについても検討していきます。

また、市内には農業振興地域を中心に、優良な農地が多く所在していることから、引き続き、J A たかつきははじめ、関係団体と連携し、農地の保全・活用に向けた取組を進めます。



▲保全・活用が求められる市内の農地

高齢者等ごみ出し支援
周知や災害時の対応は

議員 ごみ出し支援は、福祉部局との連携等が必要と考えます。対象世帯への

周知や、支援が必要だが自力での申請が困難な方の把握、利用者の声の反映方法、災害時の対応について伺います。

また、将来的な戸別回収や、ごみ収集の有料化に関する考えについてお聞きします。

市長 本事業の実施に当たっては、関係部局が連携し、制度設計を行っており、今後も各部局が連携して、円滑に進めます。対象世帯への周知は、広報誌や高齢者向けサービスガイド等への掲載のほか、支援が必要な方が申請につながるよう、関係機関にも周知を行う予定です。利用者からのご意見等は適宜検討するとともに、災害時には、関係部局が連携して適切に対応する必要がありますと考えています。全世帯の戸別回収やごみの有料化については、今後の課題と認識しています。

食材価格の高騰
学校給食への影響と
質や量を維持する取組は

議員 学校給食は、成長

代表質問

期の子どもの健康を支え、食育を実践する教育の一環であり、その質や量の確保は極めて重要です。

食材価格高騰による学校給食への影響に関する現状認識と、給食の質・量を維持するための今後の対応についてお聞きします。

市長 食材価格の高騰が長期化する中、多種多様な食材を安定的に調達し、充実した献立を提供するため、昨年10月に、小中学校の1食当たりの給食費を20%増額し、給食の質や量の維持に努めています。今後も、給食費無償化を継続するとともに、物価動向などを注視しながら、引き続き、質の高い給食を提供できるように適切に対応していきます。

合葬式墓地の増設PR活動は

議員 合葬式墓地の埋蔵可能数を拡大することですが、葬儀や墓地は民間が対応するとの認識から、民間業者を利用されている方も少なくありません。

今後増設される合葬式墓

地のPR活動について、市民の大きな選択肢の1つになるよう、今後の対応についてお聞きします。

市長 合葬式墓地の周知については、広報誌やホームページはもとより、公園墓地内における周知方法についても今後検討していきます。本市における墓地は、大規模な墓所が整備されており、また、低廉な費用で利用可能な合葬式墓地を有するなど、大阪府内でも充実しており、今後も社会状況の変化に対応するとともに、市民ニーズを踏まえ取り組んでいきます。



▲埋蔵可能数を拡大する合葬式墓地

日本共産党高槻市会議員団

誰もが排除されないまちに 物価高支援をさらに拡充 戦争準備でなく平和の取組を

きよた純子 ※出町ゆかり 中村れい子

※は発言者

気候危機の取組 地球温暖化対策は

議員 再生可能エネルギーの活用や省エネ化の推進は、地球温暖化対策だけでなく、市民の暮らしを守ることにもつながります。市の温暖化に対する取組について伺います。

市長 第2期たかつき地球温暖化対策アクションプランに基づき、エコハウス補助金等による家庭、事業所への再エネ・省エネ機器の導入促進など、温室効果

ガスの削減に取り組んでいます。

また、エコ&クリーンフェスタ等による市民への意識啓発や、たかつき市民環境大学を通じた環境保全活動の担い手育成など、市民・事業者と協働した各種施策に取り組んでいます。

さらに、熱中症の健康リスクに対応するため、約70の公共施設等をクーリングシェルターに指定し、市民の皆様が暑さをしのげる場所として運用しています。引き続き、市民・事業者と連携を図り、施策を進めていきます。

市民の心を大切にしたい まちづくり 公共の役割、公の責任は

議員 施政方針で、市民の心を大切にしたいとあり、心とありました。今までの受益者負担・費用対効果の下、補助制度が打ち切られてきました。

市民の思いを大事にする市政を貫くのか、公共の役割、公の責任に関する市の考えについて伺います。

市長 本市としては、あらゆる分野の施策の充実で、市民福祉の向上を図ることが重要と認識しています。

一方、行政運営では、限られた財源の中で、多様な市民ニーズに応える必要があり、これまで、社会の動向を適切に見極めた上で、実施している施策を絶えず見直し、市民にとって必要な行政サービスの提供に努めてきたところです。

今後も、市民の生命・財産、平穏な生活を守るといふ市の責任を果たし、将来にわたり誰もが幸せを実感できるまちの実現に向け、市民の心を大切にしたい、心のこもったまちづくりを進めていきます。

差別を許さない取組を

議員 差別は許されないことであり、誰もが大切にされるよう多様性を認め合うことが大事だと考えますが、市の認識と取組について伺います。

市長 人権をめぐる問題は依然として多岐にわたつ

ており、SNS等の普及により、新たな形での人権侵害が増加するなど、内容も多様化・複雑化しています。

障がいの有無等、様々な背景・属性のある全ての市民が、個性や能力を十分発揮できる、差別や偏見のない地域社会の構築は重要であり、その実現のため、全ての人が人権を自分の問題として捉え、様々な人権課題に向き合い、行動することが肝要と認識しています。今後、1人1人の人権が尊重され、誰もが自分らしく、生き生きと暮らせる社会の実現に向け、人権施策の推進に努めていきます。

**平和への取組
戦争体験者・被爆者の
思いを伝える取組を**

議員 安全に暮らすために、市でも、平和への取組、戦争体験者・被爆者の思いを伝える取組を広げることが大事です。市の取組について伺います。

市長 昨年は、終戦から80年という節目の年を迎え、平和の尊さを再認識すると

ともに、改めて、恒久平和への願いをより一層深めたところ です。

本市では、昭和58年に非核平和都市宣言を行い、日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議に加盟し、他の自治体との連携を図りながら、平和の尊さを次世代に伝える平和展の開催などの取組を行ってきました。戦争を知らない世代が大多数を占める時代となり、戦争の記憶の風化が懸念される中で、その記憶を継承していくことは重要です。今後も、戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを次世代へ語り継ぎ、平和な社会の実現に努めていきます。



▲平和の尊さを次世代に伝える平和展

議案質疑

3月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議を行いました。ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。

市民生活

高齢者等ごみ出し支援
目的と周知方法は

議員 高齢者等ごみ出し支援に関し、本事業の目的と周知方法、及びごみ収集時に安否確認ができない場合の対応について伺います。

清掃業務課長 本事業の目的は、高齢や障がい等の理由で、家庭のごみを集積場所まで持ち出すことが困難な世帯に対し、市が戸別にごみを収集し、ごみ出しを支援することにより、これらの世帯の生活環境の保全と福祉の増進を図ることです。

周知については、広報誌やホームページ、地域包括支援センターや民生委員児童委員等の関係機関のほか、高齢者向けの各種制度を説明する市民出前講座などを通じて案内を行います。

また、収集時にごみが出ておらず、利用者からのごみ出しの意思表示がない時には、在宅を確認し、応答がない場合は関係部局と速

やかに情報共有を図り対応してまいります。

議員 本事業を生活支援と見守りを一体化した仕組みとして発展させ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができれば、まちづくりにつながってほしい。

また、事業を実施していく中で、民生委員等の声を聞き、対象者の拡充など柔軟な対応をしてほしい。

若年層にも広がる特殊詐欺
世代横断的な啓発を

議員 主な特殊詐欺の手法と、急増した要因について伺います。

市民生活相談課主幹 令和7年は二七警察詐欺による被害が急増し、被害全体の約7割を占めており、20代から30代の被害割合が21.7%と増大しています。

二七警察詐欺では「口座が犯罪に使われているため、口座を調査する」などといって現金をだまし取ったり、振り込ませたりします。

また、逮捕されるなど不安をもち、偽の警察手

帳や逮捕状を提示するなどして、信じ込ませて被害者の全財産をだまし取るケースもあります。近年は、インターネットバンキングを悪用する手口により、1件当たりの被害額が高額化しています。

議員 若年層にも広がるSNS型詐欺やニセ警察詐欺への啓発を強化することが重要なので、デジタル媒体を活用した世代横断的な啓発等に努めてほしい。



保育

2歳児クラスの 保育料無償化 入所希望者数の推移は

議員 2歳児クラスの保育料無償化に伴い、子育て家庭の経済的負担が軽減されることとなりますが、2歳児クラスの入所希望者数はどう推移していくのか、お聞きします。

保育幼稚園事業課長 国の育児休業制度においては、最長で子どもが2歳になるまで延長できることとされ

ており、育児休業から復職を検討する世帯の多くが、対象児童が2歳となった時点で既に入所申込みを行っていると考えられるため、無償化によって2歳児クラスの入所希望者数が大幅に増加するものではないと見込んでいます。

議員 今後の運用状況や利用実態を丁寧に把握した上で、効果や課題の検証を行い、認可外保育施設等や児童発達支援を含めた対象の在り方についても前向きに検討してほしい。



教育

中学校部活動の地域移行 平日と休日の円滑な 連携体制を

議員 中学校の部活動について、平日の学校クラブと休日の地域クラブの指導引継ぎやレベル調整はどのような形で行っているのか、伺います。

教育政策推進官 休日の地域クラブ活動試行実施校では、部活動顧問と地域指

導者が対面での打合せや部活動アプリの活用を通じて、部の活動方針や生徒の活動状況等を共有することで、指導の一貫性の確保を図っています。

議員 平日と休日のクラブ活動の円滑な連携体制をさらに充実させるとともに、生徒が安心して主体的に参加できる環境を整え、クラブ活動全体がより一層活発になるように取り組んでほしい。



行政

成長戦略本部の設置 期待する効果は

議員 今回の機構改革で新たに設置する成長戦略本部に関して、今後どのような成果を期待し、組織の効果はどのような考え方で評価していくのか、お聞きします。

みらい創生室主幹 成長戦略本部の目的は所管する整備事業等の円滑な推進、デジタル市政改革による従来の業務の在り方や組織の

見直しとなりますが、新たな体制が十分機能し、それぞれの重要施策が迅速かつ着実に推進されるよう、適切な進捗管理の下、取り組んでいきます。

議員 今回の機構改革が本市の政策推進力の強化につながるよう今後の組織運営に期待するとともに、必要に応じて組織体制の検証等も行ってほしい。



交通

榎田地域のデマンドバス 地域の意向に即した 本格運行を

議員 榎田地域におけるデマンドバスの実証運行で、地域住民等から寄せられた声と、デマンドバスの予約方法について伺います。

都市づくり推進課長 車両の定員や予約方法、運行ダイヤなどに関する意見、要望のほか、デマンド交通導入への感謝の声もありました。引き続き、状況を把握した上で地域の実情を踏まえた運行を検討してい

ます。

また、予約は、電話とインターネットの方法が可能で、高齢などでインターネットでの登録や予約に不安がある方には、個別相談会を実施し、対面での相談も行うなど、丁寧に取組んでいます。

議員 デマンドバスは高齢者の日常生活の支えとなり、地域の持続可能性を支える重要な取組なので、実証運行の知見を生かし、地域の意向や実情に即した本格運行につなげてほしい。
また、予約方法等について、今後も丁寧な説明と周知で誰もが利用しやすいデマンドバスの運営に努めてほしい。



▲ 榎田地域内を運行するデマンドバス

住まい

市営住宅 優先入居の方法は

議員 市営住宅の優先入居対象に、子育て世帯や若者夫婦等を加えるとのことですが、市営住宅全体の募集戸数と優先入居方法について伺います。

住宅課長 募集戸数は約110戸を予定しています。

優先入居方法は、現在検討中ですが、国において、優先入居の取扱いを行う世帯の抽せんにおける当選率を、他の一般の入居申込者より有利に取り扱う倍率優遇方式や、募集を行う住戸の中に、優先入居の取扱いを行う世帯の戸数枠を設けており、大阪府や他市の事例を参考に、引き続き検討していきます。

議員 できる限り公平な募集の方法と、状況に合わせて入居選考の方法を変更していくような柔軟な対応をしてほしい。

まちづくり

摂津峡青少年キャンプ場 リニューアルの理由は

議員 摂津峡青少年キャンプ場をリニューアルするに至った理由について伺います。

歴史にぎわい推進課長

青少年キャンプ場は開設から60年以上が経過していることから、施設の老朽化が見られるほか、市民や利用者アンケート等を通じて、道路が狭隘であることや駐車場が遠いこと、申込みの利便性が低いことなどについて、改善を求める意見をいただきました。これらを踏まえ、摂津峡の自然を生かしつつ、近年のキャンプスタイルに適合させるとともに、幅広い世代が気軽にキャンプができる場となるようリニューアルするものです。

議員 SNS等を活用した積極的なプロモーションなどにより、行ってみたいと思ってもらえる発信にも力を入れ、今回の再整備で



摂津峡公園が、市民や観光客にとってより魅力的で訪れたくなる場所となるよう、引き続き丁寧な検討と取組をしてほしい。

▲ リニューアル予定の摂津峡青少年キャンプ場（イメージ）

令和8年3月定例会の議決結果（全員賛成分）

- 令和7年度高槻市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計補正予算（第1号）について（原案可決）
- 令和7年度高槻市自動車運送事業会計補正予算（第2号）について（原案可決）
- 令和7年度高槻市水道事業会計補正予算（第3号）について（原案可決）
- 高槻市行政手続条例中一部改正について（原案可決）
- 一般職の職員の給与に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市火災予防条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市消防団員等公務災害補償条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市立総合スポーツセンター条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市手数料条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市営住宅条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市特定都市河川浸水被害対策法に基づく雨水貯留浸透施設等の標識の設置に関する条例制定について（原案可決）
- 高槻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例及び高槻市立幼保連携型認定こども園条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市自動車運送事業条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市水道事業条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例制定について（原案可決）
- 高槻市道路線の認定及び廃止について（原案可決）
- 都市公園を設置すべき区域の決定について（原案可決）
- 令和8年度高槻市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算について（原案可決）
- 令和8年度高槻市自動車運送事業会計予算について（原案可決）
- 高槻市教育委員会委員任命につき同意を求めることについて（同意）
- 高槻市公平委員会委員選任につき同意を求めることについて（同意）
- 高槻市固定資産評価審査委員会委員選任につき同意を求めることについて（同意）
- 一般職の職員の給与に関する条例等中一部改正について（原案可決）
- 包括外部監査契約の締結について（原案可決）
- 中東地域の早期事態収拾を求める決議について（原案可決）

一般質問

3月定例会で20人の議員が行った一般質問の要約を掲載しています。

詳細は6月中旬以降に、市議会ホームページ「会議録検索」で閲覧できます。

一般質問の記事は、質問した議員自身が作成しています。ご不明な点は、議員にお尋ねください。

西村ゆみ 議員

いじめ初期対応

議員 いじめが認知された際の初期段階で、専門職の関与する基準は、現在の体制は、未然防止の観点から機能しているのか、見解は。答弁 必要に応じて専門家等との連携を行います。早期解決に向けた組織対応につながっていると考えます。議員 子どもたちの心と命を守るため、学校が相談・要請できる環境づくりを。



森本信之 議員

ペット防災への取組

議員 周知啓発等の取組を



さらに進めていく考えは。

答弁 市民避難訓練や出前講座等を通じて、ペットの同行避難について啓発するとともに、ホームページにおける周知啓発の内容について検討していきます。

議員 ペットは家族であり、誰1人取り残さない避難の観点からもペット防災のさらなる充実を強く求めます。

このきよし 議員

さらなる公園利活用

議員 本市の公園行政が抱える主な課題への認識は。

答弁 安全面や景観等に加え、維持管理コスト増加も課題だと認識しています。

議員 持続可能な管理体制を構築し、公園の価値をリブート(再起動)する視点を持つて、これまで以上の水準をもこえるスキージャンプでいう「K点越え」の公園運営を進めてください。



中村明子 議員

子どもの地域交流

議員 中学校の部活動数は。

答弁 令和7年7月時点では市全体で230あり、令



和2年度以降23の部活動が休部または廃部しています。

議員 「中学校部活動の地域クラブへの展開」が、子どもたちと地域との関わりを深める取組となり、生涯文化芸術やスポーツに親しみながら地域とつながる場となることを期待します。

遠矢家永子 議員

ひとり親家庭の支援

議員 アンケート等の結果に関する課題認識についてお伺いします。

答弁 改めて、ひとり親家庭への支援ニーズがあることを確認しました。

議員 ひとり親家庭医療費助成制度の対象年齢の引上げ、官民協働による空き家活用型支援「ひとり親向けシェアハウス」等、踏み込んだ支援策の検討を。



三井泰之 議員

地域通貨導入の取組

議員 デジタル地域通貨の検討状況について伺います。

答弁 先進自治体における地域通貨の導入目的や効果、課題等について、情報収集



に取り組んでいます。

議員 市民の利便性向上はもとより、市外からの来訪者による消費を確実に市内へ取り込むことが可能な「高規格デジタル地域通貨」の導入を強く要望します。

真鍋宗一郎 議員

包括連携協定

議員 JAたかつき、高槻商工会議所と締結した包括連携協定の具体的な内容は。

答弁 JAたかつきとは新規就農者支援充実や営農活動継続の施策推進等を、高槻商工会議所とは企業のDX化・次世代経営者育成等の事業に関し、情報発信の取組支援などを行います。

議員 補完し合い相乗効果を生むよう引き続き取組を。



湯峯佳代子 議員

中学校部活動の取組

議員 部活動の教育的意義と地域展開の関係、今後の方向性について伺います。

答弁 部活動は生徒の心身の成長と豊かな学校生活の実現に役割を果たし地域展開は持続可能な活動環境を



整備します。今後は意義等を踏まえ段階的に地域展開を進めたいと考えています。

議員 教育的意義の継承等を柱にした仕組みの構築を。

竹中 健 議員

休校基準の見直し

議員 防災気象情報の変更を踏まえた学校の臨時休業措置基準の見直しの考えは。

答弁 気象庁の動向等を注視しつつ、今後の対応を検討しているところです。

議員 災害種別ごとの危険性等を踏まえて学校の休業判断の在り方を検討すべき。特に土砂災害警報は地域の実情に応じた柔軟な判断基準への見直しを要望します。



吉田錦司 議員

保育士確保

議員 今後の保育士の人材確保戦略に関し市の考えは。

答弁 奨学金返済支援事業について、補助期間を3年から10年に大幅に拡充することにより、保育士確保・定着に取り組んでいきます。議員 保育士確保としても1段階み込む段階に来て



います。従来施策を土台とした市独自の処遇改善制度創設がその一歩と考えます。

▼**笹内和志 議員**

▼**空き家対策の取組**



議員 地域住民等から相談があつた空き家等に対して、どのような措置を取っているのか、見解を伺います。

答弁 危険度判定を実施し、所有者等を調査して改善を促し、特に危険度が高い空き家には助言・指導を行います。改善されない場合は勧告を行い、固定資産税等の特例の適用を解除する等の措置を行っています。

▼**きよた純子 議員**
働く女性支援



議員 職場での固定的役割分担意識の解消の啓発強化はできませんか。また、困難な問題を抱える女性の背景からも若い女性や高齢女性に対する家賃補助制度が必要と考えますが、見解は。

答弁 課題解決に向け、工夫して取り組めます。家賃補助制度は考えていません。
議員 女性が安心して暮ら

せるように対策の強化を。

▼**山崎麻里子 議員**

▼**主権者教育の推進**



議員 今後の方向性は。

答弁 主体的に社会に参画する力を育むことを目指しているところです。

議員 1票の重みや権利と責任を十分に理解した上で、主体的に選挙に参加していくことが重要です。未来を切り開くための種まきであり、学校や環境によって差が生じることのないよう、社会や政治に触れる機会を。

▼**木山ユウ子 議員**

▼**子ども計画改定と**



▼**高校生年代へのサポート**

議員 高校を中退したこと

もをサポートする取組は。
答弁 「ひきこもり等青少年庁内連絡会」での情報共有や、青少年交流センターでの面接相談をしています。
議員 高校中退者の多くが転学等を希望にもかかわらず、子ども計画にその関連の記載がないので該当内容の整理と明記を要望します。

▼**北岡隆浩 議員**

▼**議員の看板**



議員 看板に証票がない、あるいは証票が期限切れの場合の違法の根拠と罰則は。

答弁 公選法違反の場合、拘禁刑等の規定があります。
議員 平田議員は5枚、真鍋議員は3枚、法令に抵触する看板を掲示していません。その中には2年連続で収支報告書を不提出のため解散させられた政治団体が届け出た看板もありました。

▼**江沢よし 議員**

▼**幼児小時期の子育て**



▼**環境の充実**

議員 幼児小連携・接続の取組は、子どもの育ちと学びを支える観点から、重要な取組です。今後の取組について、見解を伺います。

答弁 幼児小接続においては、様々な課題があることから、就学前から小学校への円滑な接続が図られるよう、連携を強化しながら、取組を進めていきます。

▼**高木りゅうた 議員**

▼**支援学級の学童入室**



議員 学童入室について、要配慮児童は学年に関係なく生徒の個別の状況を踏まえた優先順位に見直すべきですが見解をお聞きします。

答弁 選考順位は1年生から優先した上で安全確保等に配慮した適切なものです。
議員 高学年の1点で優先順位を後ろにせず入室の必要性で判断する方法への変更と臨時室設置を求めます。

▼**鈴木りゅういち 議員**

▼**ごみ出し支援と防災**



議員 災害時要援護者支援同意名簿のように、同意があつた方のごみ出し支援情報を自治会等に開示することはできないでしょうか。

答弁 他の用途に使用することは考えていません。
議員 ごみ出し支援はすばらしい事業ですが、生活弱者は災害弱者でもあるため、ご近所も協力できる体制で高齢者等の在宅避難支援を。

▼**吉田章浩 議員**

▼**地域包括ケアの推進**



議員 地域包括ケアシステムの現状と医療・介護の連携の取組、今後の課題は。

答弁 相談体制設置のほか、地域ケア会議で多職種が意見交換を行うなど医療と介護の連携強化を図っています。今後は、地域の実情に応じたサービス提供や介護人材の確保などが課題です。
議員 さらなる充実が図られるようお願いいたします。

▼**中村れい子 議員**

▼**物価高への支援を**



議員 イランへの軍事行動によるガソリン価格の高騰、物価高に対する市民への新支援が必要ですが、見解は。

答弁 市民生活や事業活動への影響等を注視し、必要に応じて支援を検討します。
議員 物価高に拍車をかけるように4月から社会保障の改善が行われました。物価高対策は国の責任ですが市も支援をしてほしい。



◆ 行政視察の概要 ◆

会派視察

● 市民連合議員団

久保 隆／小森 禎之／遠矢家永子
森本 信之／吉尾 卓也／吉田 錦司

1月28日(水) 千葉県流山市
・送迎保育ステーション業務について
・配慮を要する園児について

1月29日(木) 千葉県野田市
・若者支援施策について

● 大阪維新の会高槻市議会議員団

江沢 よし／きもとゆう／木山ユウ子／鈴木りゅういち
竹中 健／田村のり子／山崎麻里子

2月9日(月) 富山県富山市
・未来共創推進事業について

2月10日(火) 長野県長野市
・みらいハッ!けんプロジェクトについて
・ヤングケアラー支援について

議会の日程

5月 7日(木) 10時	議会運営委員会
11日(月) 10時	本会議(役員の選任)
12日(火) 10時	本会議(役員の選任)
13日(水) 10時	本会議(役員の選任)
6月 1日(月) 10時	議会運営委員会
4日(木) 10時	本会議(提案理由説明)
8日(月) 10時	本会議(質疑)
11日(木) 10時	文教にぎわい委員会
10時	福祉企業委員会
12日(金) 10時	市民都市委員会
10時	総務消防委員会
17日(水) 10時	議会運営委員会
22日(月) 10時	本会議(採決、一般質問)
23日(火) 10時	本会議(一般質問)
24日(水) 10時	本会議(一般質問)

日程は変更される場合がありますので、傍聴の際には議会事務局までお問い合わせください。(TEL 072-674-7213)

議員研修

ハラスメント研修を開催

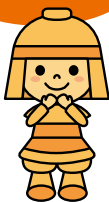
昨年度に引き続き、ハラスメントの共通認識を図るため、1月22日(木)に議員ハラスメント研修を開催しました。弁護士の加納 淳子氏を講師に迎え、近時のハラスメントの傾向及び市議会の防止対策などについて講義を受けたほか、グループワークを通じて実践的に学びを深めました。



声・手話の

たかつき市議会だよりのご案内

高槻市
マスコットキャラクター
はにたん



音声版「声のたかつき市議会だより」と、手話動画版「手話のたかつき市議会だより」を、今号から市議会ホームページに掲載します。掲載は、5月10日頃の予定です。(発行月の10日頃に更新予定です。)

議会日誌

1月30日	史跡整備・活用等特別委員会
2月 2日	新名神・交通体系等対策特別委員会
4日	市街地整備促進特別委員会
20日	議会運営委員会
25日	本会議第1日
3月 3日	本会議第2日
4日	本会議第3日
5日	本会議第4日
9日	福祉企業委員会
10日	市民都市委員会
11日	文教にぎわい委員会
12日	総務消防委員会
16日	議会運営委員会
23日	本会議第5日
24日	本会議第6日
25日	本会議第7日
26日	議会だより編集委員会
4月10日	議会運営委員会
15日	議会だより編集委員会

訃報



吉田稔弘議員(85歳)が、去る1月6日に逝去されました。同議員は、平成15年に初当選以来、6期にわたり、高槻市議会副議長をはじめ、各常任・特別委員会委員長など、各種の要職を歴任され、市政の発展に寄与されました。ここに生前のご功績をたたえ、心からご冥福をお祈りいたします。

編集委員会よりひとこと

今議会では、令和8年度の施政方針が8項目にわたり示されました。施政方針は、物価高騰対策など市民の皆様の暮らしに関わる取組の方向性などを示すものです。これを受け、各会派の代表質問では活発な議論が交わされ、施政方針に基づく予算案についても慎重な審議を経て議決しました。本誌面のほか、市の広報誌やホームページでもご覧いただけますので、市民の皆様の視点からも、ぜひご確認ください。新緑の季節を迎え、これからも開かれた議会を目指し努めてまいります。